

翔

第39号 (令和5年9月1日)



七尾市民文化祭 「きもの着付けショー」

全国きもの指導者協会
認証校

山原昌娃きもの着付学院

第18回 七尾市民文化祭
第24回 きもの文化を楽しむ

～伝え 繋ぎ 結ぶ～

きもの着付けショー

◆日時 令和4年10月30日(日)
午前10時～ 公開リハーサル
午後1時～ 着付けショー 90分
◆場所 パトリア4階 フォーラム七尾大ホール

◆主催 七尾市文化協会
◆共催 七尾市教育委員会
◆主管 山原昌娃きもの着付学院



昨年の市民文化祭での着付けショーでは初めてステージで皆様に見て頂く形で参加させて頂きました。これまでは逆の立場だったので、緊張と不安な気持ちで一杯でした。自分達で選んだ曲が始まり、山原先生の声が聞こえた時はホッとしたのを記憶しています。それでも何度も練習を重ねた名古屋帯のお太鼓結びでしたが、心の中は最後まで不安なままで

七尾市民文化祭 きもの着付けショーに参加して

七尾講師会 村井 恵美子

した。人前が苦手な私はプログラム一番目だった事が救いでした。お陰様で後のプログラムはゆっくり見る事が出来、師範、準師範の方々の熟練した所作はとても美しく自分の未熟さを痛感したと同時に改めて着物の奥深さを感じた一日でした。

「きもの着付けショー」にワクワク

師範会 長澤 雅美

山原学院長からの「金沢の人も出たいのよ」のお言葉に、ぜひ参加したいと思いました。「きものに恋して」では、諸先生の華麗な舞の中、私は笑顔でスキップの予定がきもののスキップは意外と難しく、ぎこちないスキップでも会場の皆さんの笑顔が嬉しかったです。「パーティーへ」では山田先生がコーディネートと着付けをしてくださった鮮やかな黄色の色無地と虹色の華やかな帯結びが会場を盛り上げ、色無地の可能性が広がった瞬間を体感いたしました。コロナ禍でも参加させて頂いたことに感謝と、きものを着ることで感じられる喜びを、伝え繋いでいきたいと思います。



次代に繋ぐ着付けショー参加

羽昨教室 丸吉ひとみ

本屋にて「家庭画報きもの着付けと帯結び」の本が目に残りました。その本には、五つ紋付の黒喪服を小物でドレスアップしたモデルさんが掲載されていました。私としては目からうろこです。喪服として購入した黒紋付の着物は喪服としてしか着れない着物と思っていました。色々検索してみると、五つ紋の喪服は黒留と同じくらい格式のある着物だそうです。喪服を華やかに着ることはちよつと勇気がいるような気がしました。でも、この着付けショーだからこそ楽しみたいと思い、山原学院長からのアドバイスも頂き、友人に着付けして参加しました。なかなか着る機会の少ない黒喪服ですが、皆さんも挑戦してみてはいかがでしょうか。



11月15日は「きもの日」
第14回

全国いっせいきもの教室

「きもの日」にちなみ無料きもの教室を開催しました。

着付けを習いながら、きものを着ることを楽しめます。最初、学院長より半巾帯の結び方を習いました。後半は参加者の希望にそった授業となりました。当日はあいにくの雨で街歩きはできませんでしたが、10名の参加者があり和気あいあいとした中、着付けをしました。

主催 全国和装学院連絡会
山原昌娃きもの着付け学院
協力 きもの文化プロジェクト



着物の帯の結び方を学ぶ参加者たち
〓七尾市御成町のフォーラム七尾で

着付け 美しく気軽に

七尾 山原昌娃学院が無料教室

きもの日(十五日)に び方の習得を喜んだ。ちなんで着物に親しんでもらおうと、七尾市藤橋町の(へも)中能登町良川は山原昌娃きもの着付け学院は「結び方の細かいポイントを習った。せつかくだからきれいに着たい」と話した。谷口啓子(さん)同町能登部下は「先生の教え方は丁寧で親しみやすい。少しは成長したかな」と笑顔。山原学院長は「着物は簡単に着られる。もっと気軽に着てほしい」と呼びかけた。

市内外から三千代、八十代の生徒十人が参加。九人の講師が半幅帯や名古屋帯の結び方を実演しながら指導した。予定していた街歩きは雨天で中止となったが、参加者は美しい帯の結

びかけた。

(兼松諒)





きもの文化を楽しむ会
会長
橋元 道彦様



七尾市文化協会
副理事長
坂井 善久様



七尾市長
茶谷 義隆様

ご多用の中、ご臨席を賜りありが
とうございました。

ご来賓・役員の方々

3年ぶりの開催「おまつりです。さあ楽しみましょう」の言葉通りに振袖姿に心も若返り、タンスの中で眠っていた振袖にも光があてられ、皆さんの笑顔が輝いた一日となりました。

第十回 きものの集い

おまつりです
さあ 楽しみましょう！

タンスの中のきものに光をあてましょう

期日 令和5年2月26日(日)
場所 和倉温泉 あへの風
主催 きもの文化を楽しむ会
後援 七尾市文化協会



“おめでとうございます”

七尾市議会議員 木下美也子様
和田内和様のお二人にもご挨拶を
いただきました。

「きもの文化を楽しむ会」の副会長
小田真弓様が女将を務める加賀屋が
第48回「プロが選ぶ日本のホテル旅
館100選」で総合一位に輝きまし
た。
今回は欠席の為、ご主人の小田禎
彦様に会より花束をお贈りしました。



河原佐代子教室 金沢準師範会 七尾講師会



ご来賓の皆様 橋元会長様 他



金沢講師会 門前連鎖校 細田先生とお客様



ふみ娃教室 高松美智子教室 とぎ教室



高松教室 はるなお教室



羽咋教室 松井吉子先生とお客様



竹田幸子教室 宮本徳子教室 みやもと教室



田鶴浜教室 師範会 はる喜様



ひまわり教室 七尾準師範会



師範会

お振袖で

「きもの文化を楽しむ会」

きもの文化を楽しむ会

委員 山原 昌娃

お袖が長いというだけなのに、何とウキウキ、うれしい気持ち。受付でロビーで皆さんニコニコ。振袖がとても似合っています。

第十回の「きものの集い」には、「振袖を着ましょう」と早くから伝えていました。「うれしい！着ましょう」の意見が70%位。「エッ！！」「キヤー！！」「イヤ！！」が20%。あとの方々は結局振袖を着られなかった、でも参加してくださいました。

「自分らしい振袖姿」を合言葉に帯結びも工夫を凝らしています。

揺れるお袖に少しの恥じらいを込めて、みんなお嬢さん！！

「孫から借りたの」「母のものヨ」

「成人式に着たワ」あの時の思い出と共に今振袖を身にまとう幸せ。その幸せを私も戴くことが出来て、ありがとうございます。

コロナ禍で、八回、九回と開催出来なかった。その寂しさを埋めるかのように、皆様の笑顔が素敵でした。橋元会長はじめ皆様のご協力を戴き、無事第十回を終えることが出来ました。感謝申し上げます。

きもの着付だけでなく、多才な才能を持つ一人「なんつつ亭・みちよば」さんが落語を披露です。堂々としてとても素敵でした。



和倉で「きものの集い」

和装文化普及目指し3年ぶり、130人集う

元選会会長は「じやなか」「またやか」松や
や「みやびや」「たぢやか」松や
や「あやが美しじやなか」の千々
ワドを挙げ「今日の皆さんは、はれはれ
の笑顔に満ちた。たやなかや」
「お祭りが好きで、その姿を表るのが
大好き。七尾や間で一人であそぶ
植物の出かけが、うがええと
いふ呼びかけ」。

席上、本年度「フロが通る」本の
ホル・旅題「00選」総合編で
二年計四十、回目を、本に「輝
いた加賀屋のみな、美しむ会山加賀
さんか加賀屋のみな、由緒代表取締役
に花を運んだ。小田代表の妻島
さんか加賀屋、関わる関係であ
り、代理して長女、加賀屋グループ
の長谷川由美さんが登壇した。

続いて今秋開いて開かれた国文
化祭「いかに石文化祭00と、同
じ」の機を高くと、同席の
3人、の機を高くと、同席の
生徒、参加者が「加賀屋グループ」に
関する記念撮影、色とりどり、華
やかな装束、男女の参加者が次
々登場、華やかな装束に包まれ
た。市文化祭の坂井さん、八人、
美徳と和の内和美美術部、加賀
しんかの妻小田さん、の機、茶
由美さん、の機、茶由美さん、
義経市長が祝辞述べ、津田町、
語部さんが祝辞述べ、お披露出
はさが花路組、花路組、披露し
た。東日本大震災復興「花路組」

「へ」を全国で鑑賞、最後は「花路組」
「加賀屋を看した鑑賞人は若者」とい
がてました。か、問いかけた花路組
りまよふ」との喜びをそのままたつ、

北陸中日新聞 令和5年2月27日掲載



振袖で楽しむ私達は、嬉しい気持ちをはたかにも出来ないかと思い、タオル1本ずつ持ち寄る事にしました。集まったタオル150本を社会福祉協議会へお届けさせて頂きました。



令和5年度 全国きもの指導者協会 京都研修旅行

令和5年4月22日(土)～23日(日)

宿泊 ホテルロイヤルヒル福知山&スパ

新型コロナウイルス感染症の状況が落ちついてきた新緑が美しい4月。山原学院長と会員30名の、計31名が、京都にて千秋芳子先生より「舞台での歩き方」を教えて頂きました。
宿泊は、福知山へ。福知山城を見学し、会員同士の交流もあり有意義な研修旅行となりました。

日程

各自、JRにて京都へ。外国人観光客の多さに驚きながら、タクシーにて西陣織会館へ。

千秋先生のレッスンを終え、昼食後、宿泊組と日帰り組に分かれました。

宿泊組は山陰本線で福知山市の「ホテル・ロイヤルヒル福知山&スパ」に向かう途中、お城を見学しました。翌日は市内見学する人あり、すぐ帰宅する人ありと自由行動となりました。

福知山市とは

京都北部に位置する市
主な観光に、明智光秀築城の福知山城公園、天岩戸神社



「京都研修旅行に参加して」

竹田教室 竹田 幸子

久しぶりの京都研修旅行でした。今回は着物を着て出発、京都駅到着後すぐに「西陣織会館」へ、十一時過ぎから千秋先生による「舞台での歩き方」のレッスンです。

歩き方の前に先生から姿勢のお話がありました。姿勢が良いと若々しく素敵な人に見えますね。和やかに、でも真剣にレッスンを受け貴重な時間を過ごしました。

ランチの後、二条駅で集合し、福知山のホテルへ向かいます。

いろいろなハプニングもありましたが、久しぶりに学院の皆さんといろいろなお話が出来、楽しい時間を過ごしました。今回お世話くださった先生方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

京都研修旅行での散策

七尾準師範会 瀧山田陽子

京都研修一日目は、着物での美しい歩き方の講習を受けました。手の所作や足の運び方などを学び、とても有意義な時間を過ごしました。午後は、京都でのお楽しみの散策です。



わくわくしながら明智光秀が築いた福知山城に向かいました。当時から残る城石は緻密に作られ、佇まいが厳かでした。望楼からの眺めは周囲が一望でき、由良川等とても綺麗でした。着物で散策する皆さんが、絵になりそうな雰囲気でした。

二日目は東寺へ出かけ、国宝の五重塔の高さと迫力に驚きました。周囲の自然と調和していて心が洗われる思いでした。研修、散策とも、とても素敵な体験になりました。

舞台演出家でもある千秋芳子先生より、京都西陣会館にて、会員31名が「舞台での歩き方」を教えて頂きました。



舞台での歩き方を体験して

七尾講師会 大根由起子

この度ご縁があり四月の京都研修旅行に初参加させて頂いていただきました。着物での初旅行、しかも京都!!という緊張感の中で当日を迎えました。

レッスンは基本の姿勢からスタート。普段は意識していない腹部やお尻をパンパンと叩いて目覚めさせる様にすると背筋が伸びて綺麗な立ち姿になり、そのまま視線を前方に向けて颯爽と歩く、ターンの時は進行方向に足を踏み出す等の分かり易い指導の下で繰り返し練習し自分なりに身に付きました。



総仕上げに舞台でモデルみたいに格好良くウォーキング。今後の着付ショーに活かせる貴重な体験が出来ました。ありがとうございました。

舞台での歩き方研修に参加して

高松教室 飴谷 喜美子

この度の歩き方講習は、私にとって素晴らしい経験となりました。こんなに歩き方によって着物を引き立たせて見えるのかと、感動しました。

それにはまず姿勢がポイントであり、どんなに年を重ねても意識していききたいものです。講師の方は、一人一人に丁寧にアドバイスを下さ

り、参加者の皆さんと共にウォーキングをして改めて着物を着る楽しさを、感じる事が出来ました。これからは自信をもって歩けるよう。練習を重ねていきたいと思います。

京都のたのしい日

師範会 東 きよえ

今回着物を着て久しぶりに電車で京都に向かいました。まず千秋先生によるウォーキングレッスンのため会場へ向かいました。先生から一人一人の肩の正しい位置・手の向き・歩き方などを丁寧に指導していただきました。「最後に舞台上でみんな歩きましょう」と声が掛かりドキドキしながら照明の中、音楽に合わせて



てポーズをとりながら歩きました。生き生きと楽しく輝くみんなの表情が印象的でした。千秋先生のお話の中で、信号待ちの時に、お腹をポンと叩く仕草等、今でも思い出されます。戦国武将の明智光秀の築いた福知山城の天守閣からの見晴らしのよさも印象的でした。



ピンボケしていますが、千秋芳子先生の指先を・・・

京都駅から少し離れている福知山市。なかなか訪れる機会が少ない場所ですが、京都での研修の後、宿泊組十八人で訪れました。高い石垣の上に築かれた福知山城は、見てたえがありました。



福知山城

七尾準師範会 松井美和子

私達お泊まり組は、お迎えのバスに乗り、明智光秀によって築かれた福知山城へと。目の前には二の足を踏む急で高い階段が。滑りそうになりながら、大きな太鼓橋を着物を着ての第一難関でした。さすがに山城です。天守閣入口までの登り坂は、一汗も二汗もかきました。



ようやく天守閣への階段!!「エレベーターは無いのね?有る所もあるのに」と声が飛ぶ中、一階ごとに顔を見合わせながら四階まで。天守閣からは、市街が一望出来ました。併設されている資料館を見て下に降りました。

昭和61年に天守閣が復元され、現在は福知山城公園として整備されています。

福知山城 散策

金沢準師範会 荒木 幸子

午後は明智光秀ゆかりの福知山城を着物で散策しました。お城は見え



忘れてしまいました。城内には、将棋の藤井聡太七冠の対局場所もあり、藤井さんの活躍を身近に感じることができました。研修に参加された方々と一緒に歩いたので、足の痛みも感じずお陰でとても良い思い出となりました。

るが長い坂道、城内に入ると今度は階段が続き、やっとの思いで天守閣に到着しました。天守閣からは街全体見渡すことができ素晴らしい眺めでした。また光秀ゆかりの資料等もそれぞれの階に展示され、一つ一つを見ているうちに時の過ぎるのを

天のフシギ

学院長 山原 昌娃

今回の研修旅行を企画された方、一緒に歩いて頂いた皆様に感謝します。

ご当地の地酒もいただき、皆さんとの賑やかな夕食の後、七時半すぎに、四階の部屋に戻りました。カーテンを閉めようと窓に寄った時です。なんと!!

目の前に輝く大きなお星さま、その星を受ける形で、細い三日月が。期せずして会えた「天体ショー」に驚き、感激し、カーテンの端を握ったまま、幸せ感に浸りました。

天体ショーの図を目の当たりにした以後、引き寄せられるように毎日空を見上げておりました。

金星は見上げた西の空に座し、星を受けるように横になっていたあの三日月さまは斜めになり、左へ左へと、日ごと遠ざかっていきます。

五月四日、再会です。東の空に現れました。大きな満月となつて。宇宙の営みとその力に、気づきを戴いた旅となりました。

久々にお会いした千秋芳子先生、ご指導ありがとうございました。

全国きもの指導者協会 資格授与式

令和五年七月十六日(日)
於 料理旅館 金沢茶屋



新師範



新師範



新準師範



新師範



新師範

新師範の 創作帯結び



山本悦子先生



竹内雅美先生



保志場由紀子先生



遠田由美子先生



新指導員



新講師



今年度実行委員 金沢師範会の皆さん

全国きもの指導者協会

令和5年度 協会だより

資格を取得されました皆様、
おめでとうございます。

十年、十五年、二十年と永い年月
を積み重ね頑張つてこられた証。
今後のご活躍にご期待致しております。

資格取得者一覧

師範



竹内 雅美
金沢市荒屋

この度は師範の資格を頂きありがとうございます。
とございます。これも学院長をはじめ諸先生方の温かいご指導のおかげと感謝しております。着付の技術は勿論ですがきものの歴史や礼儀作法、相手を気遣う心など沢山学ばせて頂きました。私はまだまだ未熟ですが、師範に相応しい技術と人間性を身につけられるよう精進してまいります。



山本 悦子
羽咋郡宝達志水町

大切な日を迎えられた事に感謝する次第です。本当にありがとうございます。この先は学院長、諸先生方々のお姿を学び自分成りにいろいろな形で前進出来るよう頑張つて行きたいと思えます。そして着物の大切さ良さを多くの皆さんに伝え、楽しみつづ学んで行きたいと思えます。



保志場 由紀子
羽咋市粟生町

この度は、師範の資格を頂き誠にありがとうございます。教える難しさ楽しさが私の中で渦巻き、学院長の偉大さ、諸先生方の偉大さを感じずにはいられません。それらが喜びとなり着物を愛する輪が広がってくる様日々精進して参りたいと思えます。先生方、そして家族に感謝です。これからもご指導宜しくお願い致します。



遠田 由美子
かほく市木津

このたび、師範資格証をいただくことができ、大変恐縮であります。感謝無量でございます。山原・堀井両先生には感謝の気持ちでいっぱいです。

孫娘に振袖を着せたいと始めた着付。あと九年、もちろんその後も含めて、前向きに元気に精進していきたいと思っております。学院の皆様、今後もしよろしくお願い申し上げます。

準師範



藤丸 智子
羽咋市

お茶を習い始め、お稽古に着物を着る必要から着付けを習い始めました。今年度幸いにも準師範という立派な資格を頂くことができました。これからは山原学院長並びに堀井先生の温かいご指導の賜物です。重ねて感謝申し上げます。今後もし初心を忘れず日々精進して参りたいと思えます。



橋本 真里子
七尾市中島町

子どもの頃から着物を着ることが好きで自分で美しく着れるようになりたいと思い習い始めました。この度、準師範の資格をいただき、心より感謝申し上げます。

これからも楽しみながら、着付けに携わり、着付の文化を次の世代に伝えていきたいと思っております。

講師



吉岡 恵子
金沢市天神町

一念発起して教室に飛び込んだものの、着物もたためず悪戦苦闘。それで先生方や教室の皆様に優しく辛抱強く支えられてここまでたどり着きました。今のこの感謝の気持ちを忘れずにこれからも精進したいと存じます。



小田 由紀恵
白山市

親に作ってもらった着物を着れたらと始めた着付でしたが、とても奥が深く着付以外にも学ぶ事が多いで

す。

この度は先生方の御教示のおかげで講師資格をいただくことができましたが、皆様に近づけるよう研鑽を重ねます。



多賀好美
金沢市三池町

この度、講師の資格を頂き、ありがとうございます。

山原先生・諸先生の温かいご指導に深く感謝いたします。着物で外出できとても嬉しく、美しい所作、心配りが身につくようになりたいです。

指導員

山原綾乃

山原萌葉

七尾・山原昌娃学院 11人に資格証授与

七尾市の山原昌娃きもの着付学院の指導者資格授与式が十六日、金沢市本町の加賀屋グループ料理旅館「金沢茶屋」であり、師範、準師範、講師、指導員の四つの資格証が計十一人に贈られた。

全国きもの指導者協会の資格。資格証を一人ずつ手渡した山原学院長（中日文化センター）講師は「金沢での授与式は約二十年ぶりで二回目。仕事に忙しい中で学んだり、家族の応援があったりしてこそその資格です。機会あることに家族の着付けに協力したことも理解につながったのでは。今後も家族と一緒に進んでほしい」と激励した。師範の資格を得た四人が帯結びの実技を披露した。

（室木泰彦）

着付け技術 鍛錬にお墨付き



師範の資格を受けた4人が実技を披露した授与式。金沢市本町の金沢茶屋で

◇資格取得の皆さん
指導員 山原綾乃（金沢市） 山原萌葉（同）
▽講師 吉岡恵子（同） 小田由紀恵（白山市）
多賀好美（金沢市）▽準師範 藤丸智子（羽咋市） 橋本真里子（七尾市）▽師範 竹内雅美（金沢市） 山本悦子（宝達志水町） 保志場由紀子（羽咋市） 遠田由美子（かほく市）

北陸中日新聞 令和5年7月17日掲載

資格授与式に参加して

高松教室 小林 幸代

去年の今頃は大変緊張しておりました。準師範の資格授与式及び山原学院長への花束贈呈、緊張のあまり一年経った今、記憶があまりありません。今年はゆったりとした心持ちで参加させていただきました。

お料理はどれもおいしく頂きましたし、新師範になられた方の綺麗な振袖帯結びは、勉強の為細かく拝見いたしました。

皆さんの緊張感もありつつ晴れやかなお顔を見て、私も精進しようと思えて感じた一日でした。

最後となりましたが、資格を授与された皆様おめでとうございます。

全国きもの指導者協会役員

- ・会長 山原 昌娃
- ・事務局長（会計兼務） 藤田 寿代
- ・地区代表幹事・監査 久木満津美 竹田 幸子
- ・地区代表幹事 田中 孝美 中座 道子 堀井 紀子
- ・田中ひとみ 山田 清美
- ・書記・会計補佐 山本由美子 竹田 宏枝
- ・幹事の任期は二年間とし、再任は妨げない。
- ・各会会長 岩城 圭子 宮本 徳子
- 荒木 幸子 細田 節子
- 櫻井美代子 大根由起子（任期は一年）



全国きもの指導者協会役員

中学生・高校生のゆかた無料着付け

師範会 藤田 寿代

昨年三月「石川県民文化振興基金」の認定を受け、六月から七月にかけて「中学生・高校生のゆかた無料着付け」を実施致しました。

昨年は、コロナ禍により中止。今年度は、西湊、和倉、矢田郷地区(2)の四会場にて、地区の先生方が六回の授業を担当致しました。興味を持って参加しているだけに、十四名どの生徒さんも真剣で終了する頃には、ゆかたで街歩きができるまでに上達したそうです。

この事業は三年間継続で、異文化を取り入れる事が必須の為、最終日に、抹茶と和菓子の頂き方も勉強し、和やかであり、また名残惜しく終了しました。担当の先生方、お疲れ様でした。



矢田郷地区の授業風景

栄町地区担当

久木満津美

三人の生徒が参加で 五日目の時、今日も暑いし「もう終わりにする？」という私に、「もう一度始めからやりたい。」という言葉。また、背中心がズレていることに、生徒の方が自分から気づいてくれた事。永く着付けをやっているのは、こういう事を伝える・繋ぐことと胸が熱くなった一瞬でした。

西湊地区担当

深浦 米子

四名の参加者で、全六回の日程でした。楽しくしていくことを心掛け、専門の名称は控えました。腰ひもを二本使いゆかたを着て、半幅帯で基本の蝶結びをしました。初めは、悪戦苦闘していましたが、練習していく度に上達し、一人で着られるようになっていました。



和倉地区の授業風景

安野モヨコ展に携わって

師範会 尾西ゆき子

東京を皮切りに9月10日〜10月10日金沢21世紀美術館で『安野モヨコ展』が開催。北陸中日新聞社・石川テレビ主催で、安野先生30年の画業・イラスト・オリジナル着物等が展示。

学院長監督の下、細かく書かれた指示書・写真を参考に、田中・藤田先生が手際よく綺麗に着付け、安野先生からOKを頂き無事展示に至りました。

期間中も学院長・長澤先生と何度も点検に訪れ、作品を見守りました。

会場に足を運ばれた方々は多くの素晴らしい作品に堪能されたと思います。人生に彩りを添える「きもの」の魅力にも興味を持たれた方達が沢山いて下さったなら幸いです。きもの着付けで携われた事に感謝致します。

安野モヨコ展「着物いいがに」

21美、あす開幕へ準備

展示会場で安野モヨコさんがデザインした着物を着付けする山原昌雄さん(左)＝金沢市広坂の金沢21世紀美術館で(©Moyoco Anno)

漫画家・安野モヨコさんの「着物いいがに」展(北陸中日新聞、石川テレビ放送)が、金沢21世紀美術館(金沢市広坂)で10日に開幕するのを前に、安野さんがデザインした着物が8日、展示会場に準備された。展示会場に準備された「安野モヨコ展」一特集の面。安野さんは自身の着物店「百華堂」を立ち上げるほどの和服好き。金沢での展示のために同店の着物をいくつか「種類のコピー」を用意した。秋の七草をモチーフとした「七草紋」と、愛らしい「ぼんぼり」をモチーフにした「ぼんぼり」の着物が飾られる。10日は、金沢中日文化センターで着付けを教える山原昌雄さん(77歳)と三人の弟子がトルソーに着付け、準備を整えた。山原さんは「いいがになったかわいらしい仕上がった」と安野さんの着物に目を細めていた。安野モヨコ展は10月10日までの前10時〜午後6時(入場は開場の30分前まで、最終日は開場時)で開催する。前売り券は大人500円(当日100円)、高校・大学生500円(同700円)、小学生300円(同500円)。問い合わせは北陸中日新聞社(4642)・電話076(363)4642(平日午前10時〜午後5時)へ。(安野文彦)

北陸中日新聞 令和4年9月9日掲載

金沢講師会 ゆかた教室

七月二日

山原昌雄学院が浴衣の着方教室「着物に興味持つ」金沢中日文化センター講師の山原昌雄さんが主宰する「山原昌雄先生の着付け学院」の金沢講師会による浴衣の着方教室が二日、金沢市の森山公民館で開かれた。

花火大会や盆踊りといった夏のイベントを前に、浴衣で出かけてもらうため、講師五人が、帯のちょうちん結びのやり方や着崩れないポイント、浴衣の畳み方を伝えた。参加者は持参した浴衣が自分で着られ、うれしそうに記念撮影をしていた。

昨年もは参加したという同市大徳小学校五年生の荒木悠花さん(10)は「ちょうちん結びを覚えた。浴衣を綺麗に着ていきたい」と声を弾ませていた。講師会の桜井美代子さんは「浴衣をきつかに着物の着付けにも興味を持ってもらえれば」と期待していた。(安野文彦)



北陸中日新聞 令和5年7月3日掲載

一月八日
「はたちの集い」 ボランティア



中能登町



今年から成人が18歳になったので、名称も、“はたちの集い”と変わりました。

着なれない和服に身を包んだ若々しい皆さんの節目に立ち合い、自分たちも華やかな気持ちになります。思い出の写真がきれいに残るように、お袖や襟元のお直しをしました。



七尾市

六月三日
百万石踊り流し



今年は17人が参加しました。元気いっぱい踊りました。

七月十六日
七尾港まつり総踊り

今年是一般の方のゆかたの着付けボランティアを行った後、汗だくで総踊りの会場へ。山原先生からの、「におい袋」を帯につけ、『君は放課

後インソムニア』とコラボして作られたウチワを背に、19名参加しました。今年、学院のプラカードを新調しました。



港まつり 総踊り

あでやか1000人 総踊り

浴衣姿で彩り 武士団も参加
七尾港まつりの第四十五回総踊りが十六日、御祓川大通りであり、色とりどりの浴衣姿の二十五団体約千人がまちなかを彩った。
七尾商工会議所や市役所職員、各地域づくり協議会のほか、プロバスケットボールB3金沢武士団なども参加。夕暮れから「等伯さん」「みなとヨイザ」「七尾まだら」の三曲を踊って祭りを盛り上げた。
(大野沙羅)



総踊りを楽しむ参加者たち＝七尾市の御祓川大通りで

北陸中日新聞 令和5年7月19日掲載

令和5年度 山原昌娃きもの着付学院 各会・認定校・連鎖校役員一覧

会 名	令和5年度役員	教室名	先 生	令和5年度役員
連鎖校会	岩城 圭子 大谷 礼子 神前 淳子	氷見教室	田中（孝美）先生	南 照子 谷口 京子
師範会	宮本 徳子 東 きよえ	金沢教室	中座先生	前田由起子
金沢準師範会	荒木 幸子 相川 佳子	松井教室	松井先生	大橋 陽子
七尾準師範会	細田 節子 平山 広美	田鶴浜教室	藤澤先生	小垣裕美子 林 定子
金沢講師会	櫻井美代子 小泉真理子	高松教室	堀井先生	小林 幸代 藤丸 智子
七尾講師会	大根由起子 村井恵美子	羽咋教室	田中（カフミ）先生	丸吉ひとみ 國門加寿子
		河原教室	河原先生	中尾 聡恵
		みやもと教室	宮本先生	八十田和代
		ふみ娃教室	竹ヶ端先生	袋井 弘美 平澤 純子
		まさこ教室	石川先生	松井 俊子



各会 役員



各教室 役員

・会長 山原 昌娃
・事務局長 田中ひとみ
・監査 久木満津美
・書記・会計 山田 清美

令和5年度翔の会事務局

広告を協賛して頂きました各社に
厚く御礼を申し上げます。

一月十四日

七尾市文化協会

「新春のつどい」

七尾講師会 吉田美津子

和倉温泉「あえの風」で、七尾市文化協会の協会賞表彰式と、新春の集いが行なわれました。

長年の功績をたたえ個人と団体に賞状が授与されました。

祝賀曲を管弦楽団オルビスNOTO、七尾まだら保存会が正調七尾まだら、清和流剣と舞が「黒田節」「寿ぎの舞」が祝宴曲として披露され会場を沸かせました。日々、精進してらっしゃるんだろうと思います。

私は今年の着はじめが、新春の集いでした。数多く袖を通し精進していききたいと思っています。



行事予定

- ◆十月一日 莊司礼子先生講習会
- ◆十月十四日 金沢勤労者プラザ
- ◆十月十四日 金沢地区国民文化祭参加
- ◆十一月三日 「七尾市民文化祭」参加
- ◆サンライフプラザ 大ホール

編集後記

コロナ感染症がう類感染症に移行し、五月から、行動制限もなくなりました。いろいろな行事も、四年ぶりに従来の形で実施となっています。

一年間の活動を振り返る「翔」どの行事・活動も思い深いものがあります。特に、第十回を記念しての、多くの方が振袖で参加された「きもの集い」は華やかでした。こういう行事があったからこそその振袖姿でしたね。全員の写真を載せたいと思いました。毎号のことですが、急な原稿を引き受けて下さった皆様に感謝です。皆様あつての「翔」の発行です。ありがとうございました。

編集委員.....

山原 昌娃 細田 節子 守友 伸子
神前 淳子 大谷 礼子 竹田 宏枝

発行 第三十九号 令和五年九月一日発行
全国きもの指導者協会認定校

〒926-0816 七尾市藤橋町寅一 二六〇一
TEL (〇七六七) 五二一 一六二五
FAX (〇七六七) 五二一 七五五六

ホームページ <https://yamahara2.web.fc2.com>
編集 翔 編集委員会
責任者 山原 昌娃

- ◆十一月五日 『等伯』 観劇 能登演劇堂
- ◆十一月十二日 「きものの日」 無料着付け教室・街歩き 寄り合い処みそぎ・和室
- ◆十一月十二日〜十四日 金沢地区国民文化祭参加
- ◆十一月七日 「はたちの集い」 金沢市民芸術村・里山の家
- ◆七尾市・中能登町 七尾市・中能登町 七尾市・中能登町
- ◆二月二十五日 第十一回「きもの集い」 和倉温泉 あえの風



和日遊日

はるなお



はるなお文化教室

きもの着付・茶道【裏千家】・立礼式茶道・三味線・箏
書道・組紐・和裁・木目込み・きものdeおでかけ
など 一緒に『和』を楽しみましょう

〒926-0048

七尾市桧物町2番地

Tel:0767-53-0423 Fax:0767-52-9033

和日遊日はるなお

検索

LINE ID検索: @harunao

この迫力、
ここでしか味わえない。



連日
開催

御陣乗太鼓の饗宴

能登半島国定公園・和倉温泉
国勝観光ホテル整備法 登録旅館(登録第1675号)



加賀屋 姉妹館

あえの風予約センター

TEL(0767)62-2111

石川県七尾市和倉温泉 あえの風 検索



あなたが『主役』
いつもと違うおしゃれで
一歩踏み出ませんか

和福工房 はる亭

七尾市阿良町2
Tel 0767-52-3162



とことん向き合い、ずっと寄り添う家づくり。

City House

シティハウス産業株式会社

〒926-0818 石川県七尾市馬出町八部51-3

TEL 0767-53-2133 FAX 0767-53-7910

E-mail cityhouse@cityhouse.co.jp

http://www.cityhouse.jp